

作成日 2011/01/05
改訂日 2015/12/04

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 ボンド ストームガードクリヤーシートタイプ
製品コード 181703
供給者の会社名称 コニシ株式会社
住所 大阪市中央区道修町1-7-1(北浜TNKビル)
担当部門 大阪研究所 研究開発第2部
電話番号(大阪営業推進部) 06-6228-2994
緊急連絡電話番号(夜間・休日) 090-7356-6462
推奨用途及び使用上の制限 ビニルハウス・雨具・アウトドア用品などの補修用。所定の用途以外には使用しないこと。

2. 危険有害性の要約

GHS分類 分類基準に該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物
化学名又は一般名 粘着テープ

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法番号	安衛法番号	
非公開	100%	非公開	非公開	—	非公開

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 情報なし

4. 応急措置

皮膚に付着した場合 多量の水と石鹼で洗うこと。
眼に入った場合 直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
直ちに医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤 大量の水を放水する。水がないときは二酸化炭素、粉末消火剤あるいは土を用いる。
特有の危険有害性 火災によって刺激性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法 ガスの滞留しない場所で風上より消火し、漏洩防止処置を施す。
消火を行う者の保護 消火作業の際は、空気呼吸器を含め防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 情報なし
環境に対する注意事項 情報なし
封じ込め及び浄化の方法及び機材 情報なし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
換気の良い場所で取り扱うこと。

<p>接触回避 衛生対策 保管</p>	<p>眼、皮膚又は衣類に付けないこと。 取扱い後はよく手を洗いうがいをする。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 取扱い後はよく手を洗うこと。</p>
<p>安全な保管条件</p>	<p>特別に技術的対策は必要としない。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 日光から遮断すること。 冷所、換気の良い場所で保管すること。</p>
<p>安全な容器包装材料</p>	<p>情報なし</p>

8. ばく露防止及び保護措置

<p>保護具 呼吸器の保護具</p>	<p>情報なし</p>
------------------------	-------------

9. 物理的及び化学的性質

<p>外観 物理的状态 形状 色 臭い pH 沸点、初留点及び沸騰範囲 引火点 燃焼又は爆発範囲 下限 上限 溶解度 自然発火温度</p>	<p>固体 テープ状またはシート状 無色 微臭 データなし 情報なし 引火せず データなし データなし 水に不溶 情報なし</p>
---	---

10. 安定性及び反応性

<p>反応性 化学的安定性 危険有害反応可能性 避けるべき条件 危険有害な分解生成物</p>	<p>情報なし 通常の条件下では安定である。 反応性なし。 データなし 燃焼などによりCO等の有害ガスを発生する恐れがある。</p>
--	--

11. 有害性情報

<p>急性毒性 経口 経皮 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 呼吸器感作性又は皮膚感作性</p>	<p>データなし データなし データなし データなし</p>
--	--

12. 環境影響情報

<p>水生環境有害性（急性） 水生環境有害性（長期間） 生態毒性 オゾン層への有害性 その他</p>	<p>データなし データなし 情報なし データなし 漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。</p>
--	--

13. 廃棄上の注意

<p>残余廃棄物</p>	<p>廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公</p>
--------------	---

共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
 テープ部分のみでは廃プラスチック類（安定型産業廃棄物）。
 芯の紙管を含む場合は廃プラスチック類と紙くずの混合物（管理型産業廃棄物）。

汚染容器及び包装

外箱、紙管など紙製容器・包装：回収または紙くずとして処理（単体で管理型産業廃棄物、付着成分がある場合も管理型産業廃棄物）。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報	該当しない
UN No.	該当しない
Marine Pollutant	Not applicable
Transport in bulk according to MARPOL 73/78, Annex II, and the IBC code	Not applicable
航空規制情報	該当しない
UN No.	該当しない

国内規制

陸上規制	消防法、労働安全衛生法、毒物劇物取締法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められている運送方法に従うこと。
海上規制情報	該当しない
国連番号	該当しない
海洋汚染物質	非該当
MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
航空規制情報	該当しない
国連番号	該当しない
特別の安全対策	容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行うこと。 『7. 取扱い及び保管上の注意』の記載に従うこと。

1 5. 適用法令

消防法	非危険物
-----	------

1 6. その他の情報

連絡先	『1. 化学物質等及び会社情報』に記載。
参考文献	J I S Z 7 2 5 3-2 0 1 2 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS) J I S Z 7 2 5 2-2 0 1 4 GHSに基づく化学物質等の分類方法 経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス (平成25年7月) 一般社団法人 日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン (2012年6月) 日本ケミカルデータベース(株) SDS作成システム「ロジスト」により作成。
その他	SDSの伝達の経路：安全データシート (SDS) は原則として次の経路で最終取扱事業者様へ伝達されます。恐れ入りますが、未入手の場合のSDSの御請求や最新版の問い合わせは、販売ルートを通じてお申し出下さい。【メーカー⇒代理店⇒取扱い事業者】 法改正や製品の改良によりSDSを改訂する場合がありますので、作成・改訂日が2年以上たっている場合は最新版であるかどうか御確認下さい。 以前にお渡しした本製品の安全データシートをお持ちの方は破棄して下さい。

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。

前版からの変更点

- 「1. 化学品及び会社情報」に変更があります
- 「2. 危険有害性の要約」に変更があります
- 「4. 応急措置」に変更があります
- 「5. 火災時の措置」に変更があります
- 「6. 漏出時の措置」に変更があります
- 「7. 取扱い及び保管上の注意」に変更があります
- 「9. 物理的及び化学的性質」に変更があります
- 「14. 輸送上の注意」に変更があります
- 「16. その他の情報」に変更があります